

# 吃音のある子の 「小学校卒業後」を考える

2022.11.12 Sat

吃音のある子は思春期の時期に悩みを深めやすいといわれていますが、中学生以降になると吃音の相談先は極端に減少していきます。そのため小学生の間の支援や、卒業後を見据えた取り組みが重要になると考えられます。

今回は吃音のある小学生を支援してきた3名のパネリストをお呼びし、それぞれの具体的な取り組みを紹介してもらいます。そこからパネルディスカッションで参加者も含めた活発な意見交換を目指していきます。

みなさんで吃音のある子の小学校卒業後を見据えた支援を考えましょう。

日時 2022.11.12 (土) 13:00～16:00

対象 全国のことばの教室を担当する教員、中高生の臨床経験のある言語聴覚士

参加費 無料

申込み 右のQRコードかURLからお申し込みください

締切 2022.11.09 (水) 17:00まで

問合先 福島県立医科大学 衛生学・予防医学講座

森弥生 Mail: y-mori@fmu.ac.jp



申し込みフォーム

<https://forms.gle/xycRJbCnj2TW2TJQ9>

※本セミナーは参加者も含めた活発な意見交換を目指していますが  
参加者の方に対して強制的に意見を求めることはございません

# 吃音のつながりをつくる

## ふくしま吃音懇話会とは

福島県で吃音のある人たちを支援するために発足された団体。

吃音のある子の保護者、言語聴覚士、吃音当事者、ことばの教室の教員などがあつまり結成しました。

当事者交流会や吃音の研修会、吃音リーフレットの作成、配布などの啓発活動を行っています。

## 講師・パネリスト

くろさわ だいき

### 黒澤大樹（講師・ファシリテーター）

言語聴覚士、吃音のある当事者。福島県言語聴覚士会理事。

国立障害者リハビリテーションセンター学院卒業後、太田総合病院附属太田西ノ内病院入職

幼児から成人まで幅広く吃音の臨床に取り組んでいる。

さわぐち はるひこ

### 澤口陽彦（パネリスト）

福島市立霞小学校言語通級指導教室担当。ことばの教室担当は5年目。

特別支援学校自立活動教諭（言語障害教育）1種免許状所有。

たかやま ゆうじろう

### 高山祐二郎（パネリスト）

長野県小諸養護学校小学部担任。昨年度まで上田市立北小学校ことばの教室担当。吃音当事者。

吃音のある児童の在籍学級に出向いての吃音理解授業を実施している。

「こどもの吃音症状を悪化させないためにできることー具体的な支援の実践例と解説ー」分担執筆。

なまえ ひでかず

### 生江英一（パネリスト）

福島第四小学校ことばの教室担当。ことばの教室担当は通算12年目。

言語聴覚士・公認心理師・学校心理士・臨床発達心理士。ふくしま吃音懇話会スタッフ。

## セミナー内容

- ①中高生の吃音についてー悩みの特徴と支援の実践の紹介ー（黒澤）
- ②小学校卒業後を見据えて取り組んでいること（澤口、高山、生江）
- ③パネルディスカッション

## 参加される皆様へ

- ・本セミナーはZoomで開催されます。事前にアプリなどをご準備ください。
- ・当日のZoomURLや注意事項などは、お申し込み後にご連絡いたします。